
七つの海の物語 ~ Legend of Mermaid ~

影矢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

七つの海の物語〜Legend of Mermaid〜

【Nコード】

N6113C

【作者名】

影矢

【あらすじ】

北太平洋のマーメイドプリンセス、威瑠いるは幼い日に初恋した男の子に預けた真珠を返してもらったため、姉の羅威らゐとともに地上に向かう。その途中、南大西洋のマーメイドプリンセス兼、威瑠・羅威の姉、瑠奈るなと合流する。そして白い光を浴びて、「パワパフガールズZ」になってしまったももこ（ブロッサム）、みゃこ（バブルス）、かおる（バターカップ）と出会い、6人で力を合わせて悪のモンスターと戦うことに！モジョ・ジョジョやファジー、プリンセス、セデューサなどを真珠の力で変身し、歌でやっつける！！

プロローグ：始まりの海

ここは北太平洋きたたいへいようの海の中。

その海のとて深い場所にとても大きなお城がある。

そこにはたくさんの人魚マーメイドが住んでいた。

「いけません！威溜いり様！！勝手にお城に出してしまわれては！！」

侍女の内の一人が声を荒げて目の前にいる緑色の小さなマーメイドを怒鳴っている。

威溜と呼ばれた少女はその美しく綺麗な金色の髪をなびかせながら、侍女の睨み付けた。

「いいじゃんか。別にさ。ただ地上うへに行つて来るだけだよ。」

「いけません！！！！」

声の大きさに威溜はビクツツと体を震わせた。

「なんでさ！？だつて私はもう13なのに！！」

納得いかないと言うかのように頬をプウと膨らませる。

侍女ははあ・・・と溜息をつきながら威溜の翡翠色の瞳を真っ直ぐ見つめた。

「いいですか？貴女様はこの北太平洋マーメイドプリンセスの人魚姫。そう簡単にこの城を出てはいけないのです。後、貴女様は成人式もまだ行っていませんですよ！！」

侍女の言葉に威溜はむう・・・と言葉を詰まらせる。

「でもお・・・」

「とにかく！今日はもうお部屋に戻りま。いいんじゃないですか？」
声がるほうを見ると、今度はオレンジ色のポニーテールをした赤色のマーメイドが現れた。

「羅威様ロウイ！！」

「羅威お姉さま！！」

羅威と呼ばれたマーメイドは少し笑いながら侍女を見つめる。

「威溜はあたしが見張つとくから地上行き、許して頂けます？」

「お姉さまv」

威瑠はジーンと瞳を潤ませ、心の底から羅威に感謝した。

「ですが・・・貴女様も北大西洋きたたいせいようのマーメイドプリンセス様なのですよ!？自覚しているのですか!？」

羅威はふう・・・と溜息をつきながら、侍女を見る。

「別に遊びに行く訳じゃありません。あくまで、威瑠が無くした緑グリーンパール真珠と一緒に探しに行くつもりです。威瑠もそのために地上に行きたがっていたんでしょう?」

「あ・・・はい・・・。」

「それじゃあ決まり。今から行こ・・・じゃない行きましょう。」

羅威は威瑠の手を引いて城から出て行った。

「・・・確かに成人式には真珠が必要・・・ですが、どうしても威瑠様は命と同じくらい大事な真珠を無くしてしまっただんでしょう?」

「さあ・・・?噂では地上で落としたとか・・・。」

残された侍女は溜息をつきながら二人の後ろ姿を見送った・・・。

「うひゃあゝ；；僕、緊張したよゝ。ありがとね!羅威姉ロウいねえ!!」

「おゝい素に戻ってるぞゝ。ったくホントに感謝してほしいもんだな。」

「羅威姉も素になってるゝ!」

羅威は威瑠の頭をこづきながら地上に向かう。

「ったく・・・あゝ気持ち悪かったゝ・・・。なんで「俺」が「あたし」とか敬語使わないといけねんだよ・・・。」

「みんなの前ではお嬢様なのにねゝ赤色プリンセス様」

「よっぽど俺に殴られてえみてえだな。お前。」

威瑠の顔が一気にサツツと青くなる。

「あつ!!海面見えてきたよゝ!!」

「話そらすんじゃねえ!!」

二人は海面から顔をだしてあたりを見回した。

少し先にはビーチが見えている。

「わ〜・・・いっぱい人がいる〜！」

「おい。人目がつかないとこに行くぞ！！」

「あゝ！待ってよ〜！！」

二人は大きな岩場に向かった。

そして岩場に着くとパアアアつと美しい光が二人の体を包む。

その瞬間、二人の髪の毛の長さが変わり、尾ひれも人間の足に変わった。

「よしっ！これでいいんだよね！？僕人間になってるよね！？」

「その前に服着ろ！用意してあるから！！」

初めて人間の姿になった威瑠はぴよんぴよんと飛びはねる。

羅威は何回かこっそり地上に行つて人間になっていたため、もう慣れていた。

「んじゃ！着替え終わったし、真珠探しにれつつ・ごー！！」

「元気だね〜・・・」

二人は町の方へと足を進めた。

そん二人の様子を一人の黒髪の女性が見つめていた・・・

〜続く〜

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6113c/>

七つの海の物語 ~ Legend of Mermaid ~

2010年10月9日18時43分発行